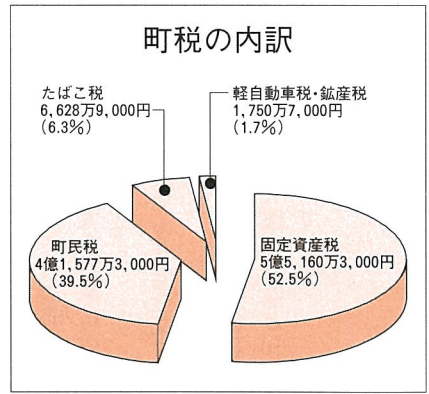
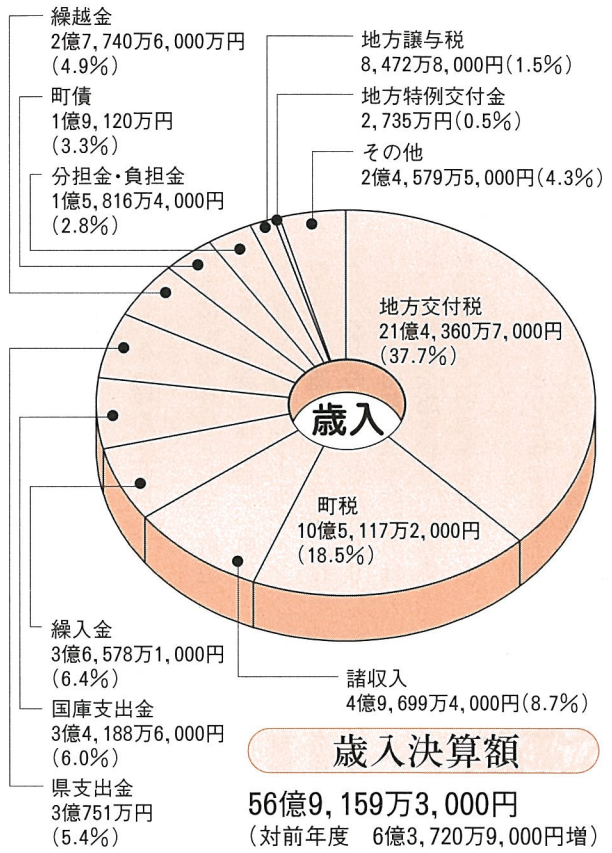
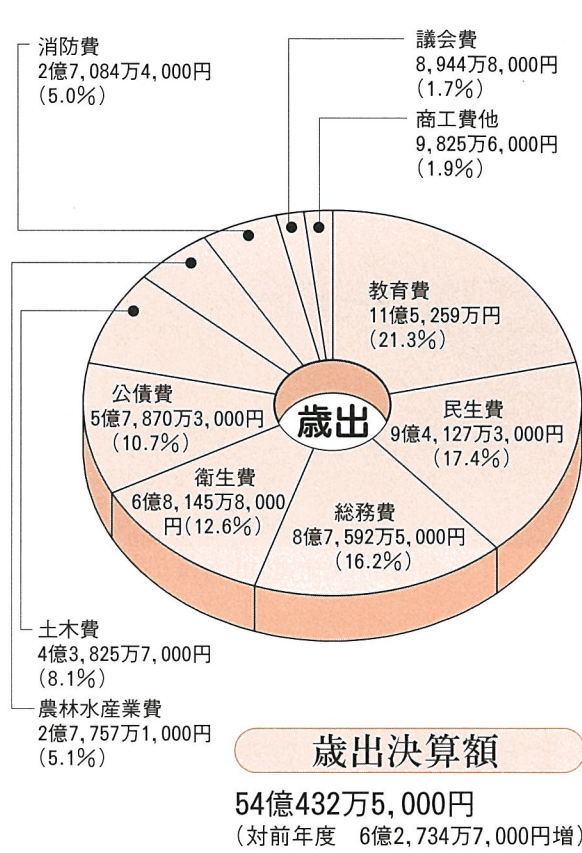


一般会計 歳入・歳出決算の内訳



歳出

支出全般については、厳しい財政状況が続くなか、長期的な視野に立った財政運営を行うとともに、事務事業の計画的な執行と見直し、経費の節減や合理化を積極的に図りながら、限られたお金を有効に支出しました。支出の内訳を見ると、最も多く支出したのは教育費で、次が民生費、総務費となっています。

教育費

11億5千万円

教育環境の整備事業として、南条・白浜小学校の改造防音工事や白浜小学校体育館の改修工事、平成13年度から着工を予定している中学校改築の基本設計等ハード事業のほか、英語指導講師の招致、スクールカウンセラーや学習指導補助教員の配置、

民生費

9億4千万円

お年寄りが安心して暮らせるようホームヘルパーの派遣や老人福祉施設入所措置事業、デイサービス事業などの充実を図ったほか、介護保険制度の事業計画策定と要介護認定事務を行いました。

総務費

8億8千万円

コミュニティ事業として小川台青年館ほか3ヶ所の集会所施設改修や、白浜地区夏まつり用備品保管倉庫購入に補助を行いました。

また、生活路線バス維持対策として栢田浜循環バスを一律2000円(小学生以下1000円)で運行を開始したほか、交通安全対策事業、防犯灯設置事業、広報誌発行事業など一層の充実を図りました。

中学生海外研修などのソフト事業を行いました。

また、青少年海外視察研修事業、生涯学習ガイドの発行をはじめとする生涯学習事業、図書館図書購入事業など社会教育の推進について、一層の充実を図りました。